

持続可能な医学研究を目指して

～科学哲学の力を使って

複雑化・大規模化・AIを乗り越えよう

佐藤 達之

北海道大学 大学院 理学院

科学基礎論教室



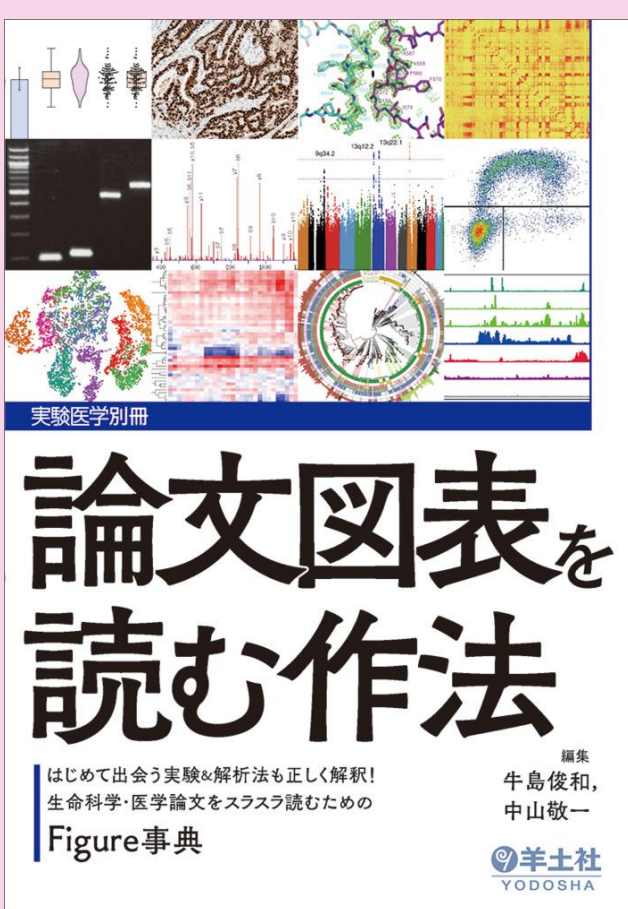
未来社会のあるべきかたち

- ◆ **医学研究**が持続的に発展し、**沢山の人が幸せになる社会**
- ◆ **AIと人間が共同し**、**発展し続ける社会**
- ◆ **良い研究とは何かを**、**みんなで考え続ける社会**

いま、医学・生命科学研究で起きていること

複雑化

たとえば…
使う手法が多様に



羊土社ホームページより

大規模化

たとえば…
論文の数は増え続ける
毎年
150万本
ずつ増える
(PubMed収載論文)
21秒に1本!

https://www.nlm.nih.gov/oet/ed/pubmed/06-24_oh-pubmed.html より

AI利用

たとえば…
AIによる参考文献検索



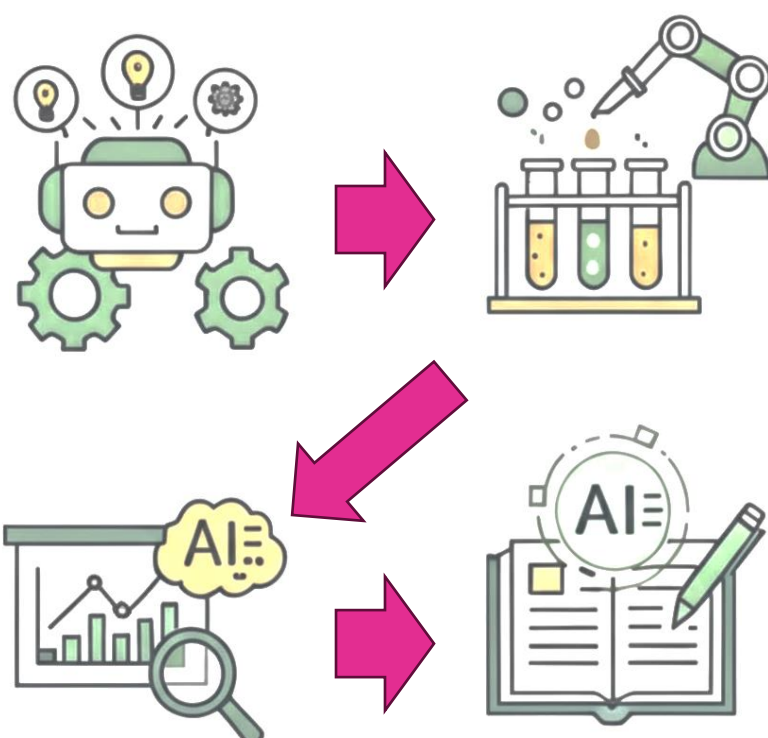
ChatGPT5で作成

これが進歩なのは間違いない。けれど…

私のギモン：

このままどんどん進むと、医学研究ってどうなる？

全部AIがやる？



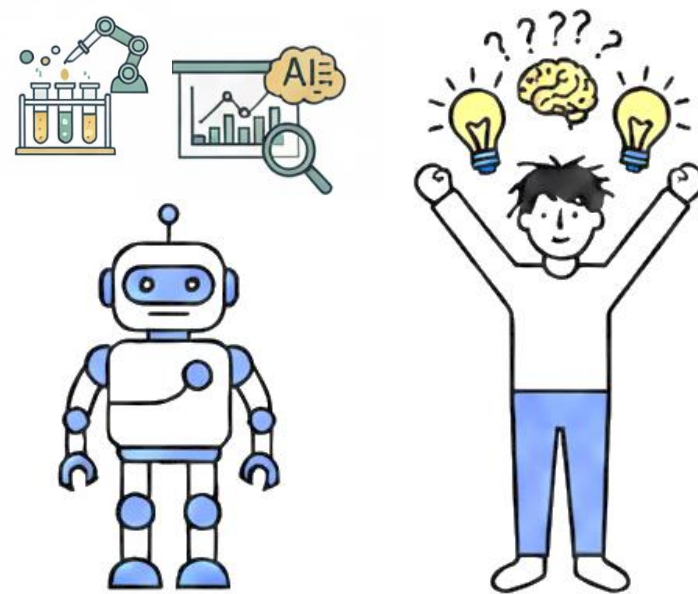
Geminiで作成

人間の限界で頭打ち？



Geminiで作成

人間にしかできない
部分がある？



Geminiで作成

私の研究テーマ：医学の科学哲学

なぜこんな風に医学研究は変化してきた？

そもそも医学研究はどのように知識を獲得するのか？

良い医学研究のあり方って？AIとのバランスは？

医学論文の歴史的
変化の分析

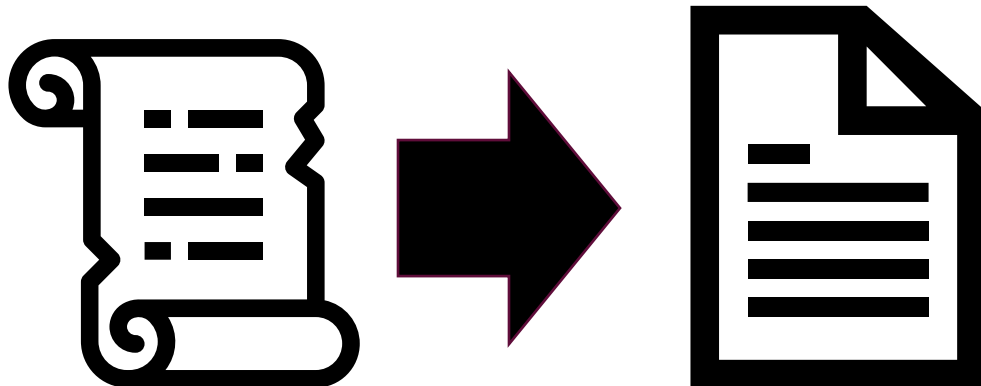
医学的知識のあり方を
科学哲学の概念で分析

昔

今

価値

推論



客観性

因果

認識

实在

真理

モデル